

協働の森パートナーズ協定

交流活動イベントのレポート

人が森を助ける。
森が人を助ける。



Collaborative Forest Restoration with Environmentally Progressive Companies.

協働の森パートナーズ協定については
高知県林業振興・環境部林業環境政策課のHPをご覧ください
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/kyoudounomori.html>

協定企業：西日本高速道路（株）四国支社 様
西日本高速道路サービス・ホールディングス（株） 様
開催場所：ゆとりすとパークおおとよ
開催日：令和3年10月28日（木）
参加者数：27名（NEXCO西日本グループの皆さま17名、
大豊町・大豊町森林組合・高知県10名）

令和3年10月28日（木）に協働の森づくり事業の交流活動が大豊町で行われました。昨年は残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大により中止となりましたが、今年は感染状況が落ち着いていることから、規模を縮小しての開催となりました。

<開会式の様子>



開会式ではNEXCOの総務企画部長（松岡寿和氏）、町長（大石雅夫氏）からご挨拶がありました。

<下草刈りの様子>

まずは下草刈り作業です。

当日は、晴天で暖かい日差しが降り注いでいましたが、その陽気を吹き飛ばす勢いで強い風が吹き、体感としてはかなり冷える中での作業となりました。

植樹場所である第2駐車場ののり面を、下から上に向かって草をカマで刈っていきます。

作業を始めて30分ほど経つと体が温まってきたようです。

皆さんが一所懸命に取り組んだおかげで、1時間もしないうちに作業が終了しました。



<植樹の様子>

次に植樹活動です。

植樹する箇所には穴を掘って、苗木を入れていきます。腐葉土や周辺の土で埋め、肥料を回しかけ、その上に土が乾燥しないよう刈った草をかぶせます。



植樹場所には石が多かったらしく、穴を掘る作業に苦労されている方がいました。

植樹した苗木にカバーをかぶせ、完成です！

例年より人数が少ない中、森林組合さんのサポートを受けつつ、協力し合いながら順調に植樹を進めていきました。

今回はかしわの木を20本、オオシマザクラの木を3本植えました。

どちらの木もお餅を包む葉が成るそうです。



参加してくださった皆さん、準備等ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。
また来年もお待ちしております！

人が森を助ける。
森が人を助ける。



Collaborative Forest Restoration with
Environmentally Progressive Companies.